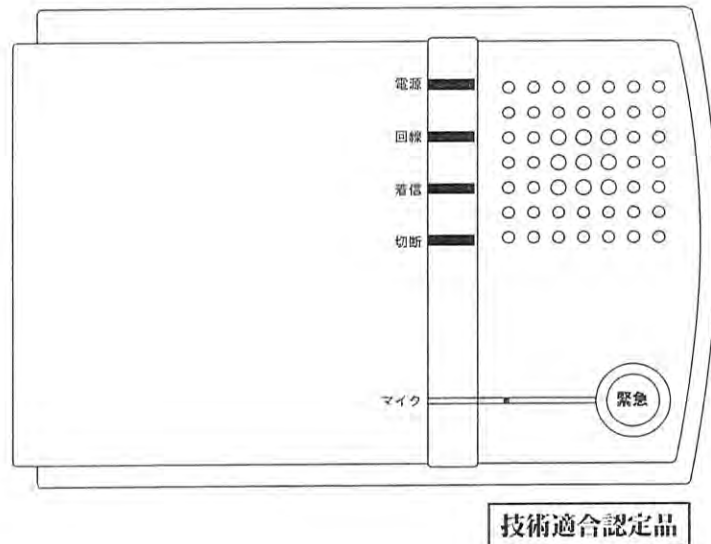



自動通報装置 Wireless Auto Dialer

MODEL RD-02 取扱説明書



日本セキュリティー機器販売株式会社

〒461-0004 名古屋市東区葵一丁目16番28号

 TEL052-935-6833 FAX052-935-6835
http://www.n-sk.jp info@n-sk.jp

目次

■目次	1
■あいさつ	2
■安全にお使いいただく為にお守りください	3-4
■セット内容	5
■各部の名称	5
■自動通報装置 RD-02の概要	6
■設置方法	7
設置する前に	7
設置方法	7
[1]外部機器と接続して有線でご使用になる場合	8
[2]電話回線への接続	8~10
■機能設定	11
① 暗証番号の設定	11
② 自動通報先の電話番号の設定	12
③ 自動通報先の電話番号の消去	13
④ 電話回線の識別設定	13
⑤ リダイヤル回数の設定	14
⑥ サイレンの継続時間の設定	14
⑦ 自動受信コール回数の設定	15
⑧ 警報メッセージの録音	15
⑨ 登録した設定値の確認	16
⑩ ワイヤレスセキュリティシステムのコントロールパネルとの連動設定	16
■設定機能のテスト	17
■自動通報受信時の操作と遠隔音声モニター操作	18
■Q & A 故障かなと思う前に	19-20
■主な仕様	21
■F A Xお問い合わせシート	22
■保証書	

ごあいさつ

この度はNSK自動通報装置（RD-02）をお買い上げいただき、ありがとうございます。
電気製品は正しく取り扱うことでより安全にご使用いただけます。

間違った使い方は、火災や感電による人身事故につながる可能性があります。

このような事故を防ぐためにもこの取扱説明書をよくお読みの上、注意事項を必ず守り安全に正しくお使いください。

尚、お読みになった後は、必ず保管していただけますようお願いいたします。

本説明書をお読みになる前に

- ・本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- ・本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載漏れなど、お気づきの点がございましたらご連絡ください。
- ・本書の内容の一部または全部を無断で複製することは、個人としてご利用になる場合を除き、禁止されています。また、無断転載は固くお断りいたします。
- ・本製品は、防犯の補助機器として開発されたものであり、万一損害が発生した場合、逸失利益、あるいは第三者からのいかなる請求に対しても、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承願います。
- ・本製品の故障、及びNSK以外の第三者による修理、その他の理由による、損害及び一失利益などに関し当社では一切その責任を負いかねます。

・安全にお使いいただく為にお守りください



お買上げ店へ

警 告

故障のまま使い続けると、火災や感電、けがの原因となります。

・次のような症状が見つかりましたら、お買上げ店へお持ちください。

異常な匂いがする。煙が出ている
正常に動作しない
電源コードやプラグに傷がある
電源コードに異常に熱い部分がある
乾電池が異常に発熱している



電源 SW を切り、
コードをコンセントから抜き、
電池をすぐに抜く。



修理をご依頼
ください。



電圧 100V

・本器は日本国内用です。100V(家庭用AC100V)を使用してください。異なる電源電圧を使用すると、火災や感電の原因になります。

禁 止



禁止

・電源コードやプラグに傷をつけない。

1. 電源コードやプラグを加工しない。
2. コード類を無理に曲げたり、ねじったりしない。
3. コード類の表面が溶けるのを防ぐため、熱機具に近づけない。
4. プラグジャック類を抜くときは、コードを引っ張らず必ずプラグ/ジャックを持って抜く。
5. コード類の上には物を置かない



プラグを抜く



分解禁止



内部に水を入

・自動通報装置・本体など機器を分解しない。
・内部に水を入れない。

1. 故障や修理のときは、お買上げ店にご依頼ください。
1. 水の掛かるような状況での使用はしない。火災や感電の原因になります。
2. コントロールパネルの上あるいはすぐ近くに水の入った容器や植木鉢等を置かない。



屋外禁止

・屋外で使用しない

1. 必ず屋内で使用してください。



濡れ手禁止

・雷が鳴り出したら電源コードやプラグには触れない。(感電の原因になります。)
・濡れた手で電源コードの抜き差しはしない。(感電の原因になります。)

注 意

- ・自動通報装置・本体は水平又は垂直に取り付ける。 1. 不安定な場所で使用すると、落下等で家財に傷を与える原因になります。
 - ・自動通報装置・本体は、風通しのよい所に置く。 1. じゅうたんや寝具など、柔らかい物の上には置かない。
2. 機器に布をかけない。
3. 暖房器具のそばや直射日光が当たる所で使用しない。
 - ・自動通報装置・本体の上には物を置かない。 1. 故障や壊れてけがなどの原因になります。特に小さなお子様には注意してください。
 - ・ときどきプラグやコンセントの点検をする。 1. 長い間コンセントを差し込んだままにしておくと、ホコリ等がたまり、湿気が加わることで電流が流れ火災の原因になることがあります。
2. 電源プラグなどが抜けかけたり破損しかけていたりしている場合は危険です。
- ・電波状態の悪い場所、あるいは違法電波などが発生した場合など、まれに異常反応を起こす場合があります。そのような事態が頻発する場合は自動通報装置の設置位置を調整していただけますようお願い致します

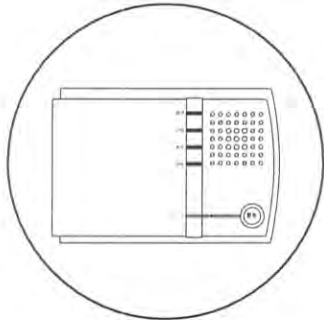
思わぬ事故を防ぐために (ときどき確認する)

- * コンセントの周りにホコリをためないようにする。
- * 電源プラグ及びコネクター類はしっかりと差し込まれているか確かめる。
- * コンセントやプラグに異常は無いか確認する。
- * 乾電池が異常に早く消耗しないか、または異常に発熱していないかを確認する。

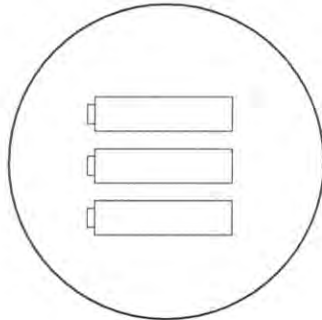


異常と思われるときは、すぐにお買上げ店にご相談ください。

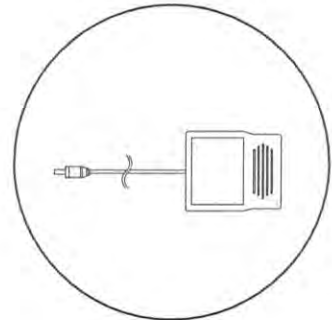
セットの内容－箱の中を確認しましょう



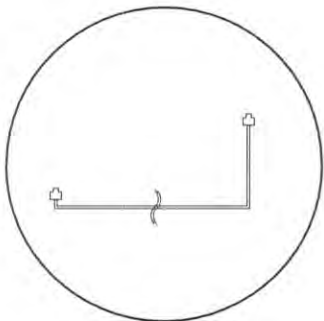
RD-02本体



充電電池
1.2V Ni-Mh×3pcs



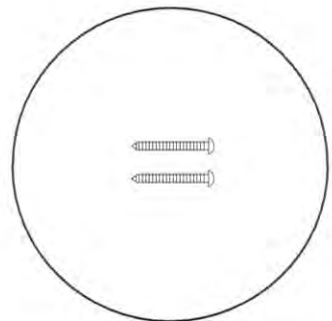
DC12V/500mA
ACアダプタ



電話コード

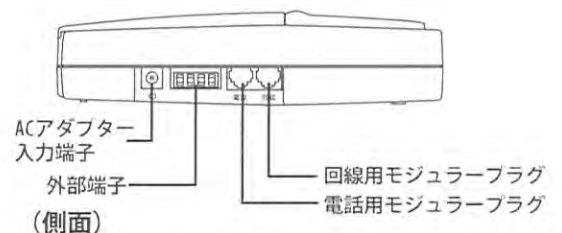
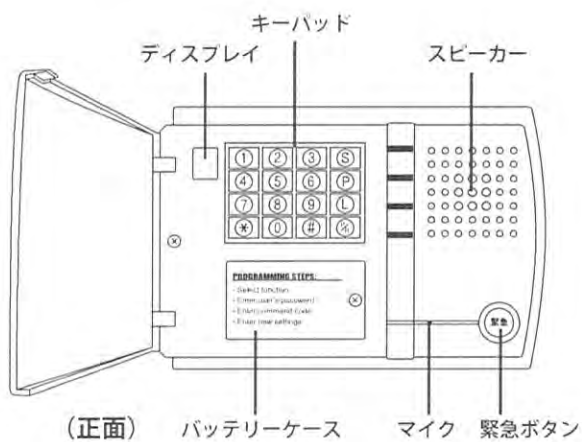


取扱説明書



壁面取り付け用ビス

各部の名称



自動通報装置 RD-02の概要

1. 無電圧接点出力 (N. 0/N. C可)のある外部制御機器に接続することで、異常時に即座に登録した電話番号 (最大6ヶ所迄) へ、順次自動通報、メッセージを流します。
2. 一般的なセンサー類 (無電圧接点入力 N. C/N. 0可) と有線で連動させることができます。
4. 自動通報受信時に、外部の電話機から現場の状況を音声モニターすることができ、さらに侵入者に対して発声もできます。
5. 外部の電話機から、遠隔操作をして双方向でコミュニケーションができます。
6. 緊急ボタンが本器についておりますので、高齢者、病人の緊急呼び出し機としてもご利用になれます。

動作環境

- プッシュ式 (トーン式) 電話回線、ISDN回線使用可能。
- ダイヤル式 (パルス式) 回線の場合、NTTでプッシュ式 (トーン式) 回線に変更してください。

設置方法

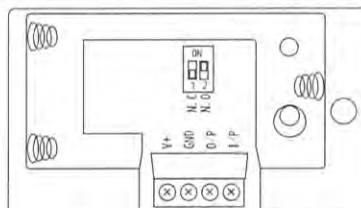
設置する前に

+ドライバーを使用して、RD-02本体のバッテリーケースのふたを開けて、AAサイズ1.2V Ni-Mh充電電池を、プラスマイナスを間違えないようにバッテリーケースに収納します。（停電時のバックアップ電源として使用します）

※誤ってタンパー回路（バッテリーケースがスイッチとなっております）が働き、警報音が鳴り出した場合、電池を外せば警報音が止まります。

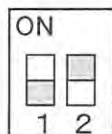
次に、内部にあるディップスイッチの右側スイッチ2を、ON（上部）に切換えます。有線式N.Cタイプ（タイプのセンサーを使用される場合は、左側スイッチ1をON（上部）側に切換えます）。

※使用可能な有線式センサーは、無電圧タイプのものに限ります。

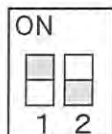


バッテリーケースの内部

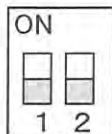
【アラーム入力の選定】



「N. O.」設定
1⇒OFF(下)
2⇒ON(上)

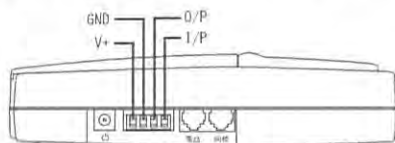


「N. C.」設定
1⇒ON(上)
2⇒OFF(下)

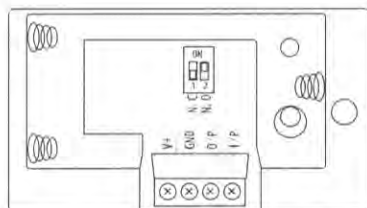


注意；
ディップスイッチを設定しない場合は、動作しません。

[1] 外部機器（無電圧接点出力タイプ）と接続して有線でご使用になる場合



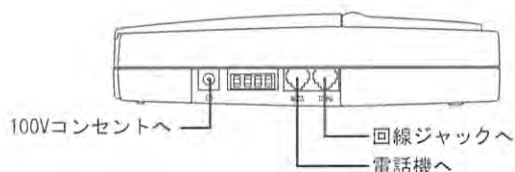
RD-02本体側面



バッテリーケースの内部

外部機器（センサー）からのアラーム入力は I/PとGNDへ、外部機器へのアラーム出力は、O/PとGNDへ接続します。
入力線の固定は、バッテリーケースを外し内部の電池の下面にある、端子台の固定ネジを+ドライバーで固定します。

[2] 電話回線への接続



本器RD-02は、アナログ回線（6極2芯）プッシュ式（トーン信号）でのみ使用可能です。ダイヤル式回線の場合、NTTでプッシュ式回線に変更してください。

2-1) 一般的なアナログ回線（プッシュ式）の場合

- 1) 現在ご使用中の電話が接続されている壁側のモジュラジャックを抜いてください。
- 2) 付属の電話コードの一端を、本器RD-02の回線用モジュラプラグに、もう一端を壁面などに敷設されている回線モジュラジャックへ接続してください。
- 3) 電話機に接続されている電話コードを、本器RD-02の電話用モジュラプラグに接続してください。

2-2) アナログ回線でホームテレホン/ビジネスホンを使用されている場合

- 1) NTTからの回線が接続されている回線分配器を確認してください。
(不明の場合は、電話を設置した事業者を確認願います)
- 2) 分配器に接続されているNTTからの回線を抜いてください。
- 3) NTTからの回線を本器RD-02の回線用モジュラプラグに接続してください。
- 4) 付属の電話コードを本器RD-02の電話用モジュラプラグへ、もう一端を分配器に接続してください。

2-3) ISDN回線を使用されている場合

- 1) NTTからの回線が接続されているTA (ターミナルアダプタ)を確認してください。
(この回線はデジタル回線のため、本器RD-02へ直接接続することができません。
TAのアナログポートから、電話機に接続されている回線へ本器RD-02を接続してください)
- 2) TAのアナログポートから、電話機に接続されている電話コードを抜いてください。
- 3) TAのアナログポートと本器RD-02の回線用モジュラプラグを付属の電話コードを使用して接続してください。
- 4) 電話機からの電話コードを本器RD-02の電話用モジュラプラグに接続してください。

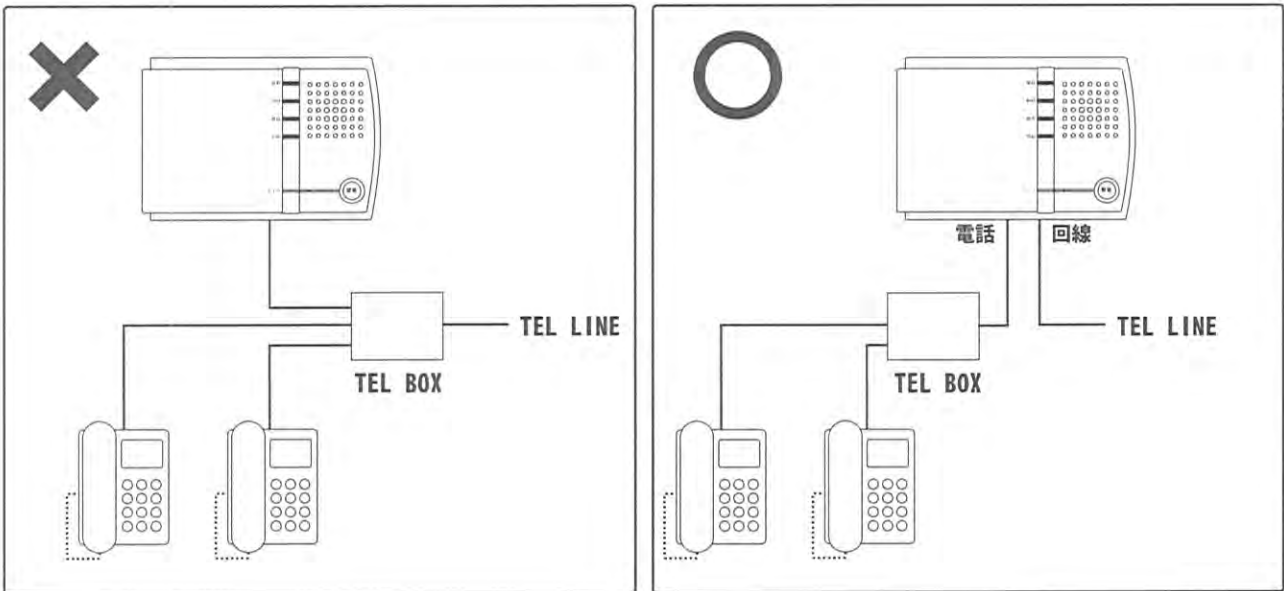
2-4) ISDN回線でホームテレホン/ビジネスホンを使用されている場合

- 1) NTTからの回線が接続されているTA (ターミナルアダプタ)を確認してください。
(この回線はデジタル回線のため、本機RD-02へ直接接続することができません
TAのアナログポートから、回線分配器に接続されている回線へ、本機RD-02を
接続してください)
- 2) TAのアナログポートから、回線分配器に接続されている電話コードを抜いてください。
- 3) TAのアナログポートと本機RD-02の回線用モジュラプラグを、付属の電話コードを使用して接続してください。
- 4) 回線分配器からの電話コードを、本機RD-02の電話用モジュラプラグに接続してください。

※回線分配器に、TAが内蔵されているタイプの機器をご使用の場合は、電話機メーカーにお問い合わせください。分配器にアナログポートがある場合は、本機RD-02をご利用いただけますが、ない場合はご利用できません。

2-5) ADSL回線を使用されている場合

- 1) NTTからの回線が接続されているスプリッターを確認してください。
- 2) スプリッターに接続されている電話機からの電話コードを抜いてください。
- 3) 付属の電話コードの一端を、本機RD-02の回線用モジュラプラグに、もう一端をスプリッターに接続してください。
- 4) 電話機に接続されている電話コードを、本機RD-02の電話用モジュラプラグに接続してください。



	TEL LINE	TEL BOX
アナログ回線（プッシュ式）	回線用モジュラジャック	——
アナログ回線（ダイヤル式）	使用できません	使用できません
ISDN 回線	TA アナログポート	——
ISDN 回線（ホームテレホン） ビジネスホン	TA アナログポート	回線分配器
ADSL 回線	スプリッター	——
ADSL 回線（ホームテレホン） ビジネスホン	スプリッター	回線分配器

機能設定

各種機能設定は、本機RD-02のキーボードから入力します。正しく設定された場合、「ピーッ」と1回長い発音音がなります。「ピッピッピッ」と3回の短い発音音が鳴った場合、エラーですので再度入力しなおしてください。
(各種設定完了時にも、3回の短い発音音が鳴りますが、これは各項目設定の完了を確認するものです)

① 暗証番号の設定

暗証番号4桁を選定します。(工場出荷時は にセットしてあります)

- 1) を押してください。
- 2) 工場出荷時暗証番号 を押してください。
- 3) 発音音と共に、ディスプレイに "P" が表示されます。
- 4) を押して下さい。
- 5) 暗証番号4桁の数字を入力してください。
- 6) ディスプレイに入力した4桁の暗証番号を表示後、数秒後に確認音が鳴り新しい暗証番号が登録されます。
- 7) その後ディスプレイに "P" と表示され、数秒後、3回の短い発音音が鳴り、設定完了です。

(例) 暗証番号を に変更する。

" ディスプレイに【P】表示 "

注) 登録した暗証番号を忘れた場合、もしくは本機RD-02を工場出荷時の設定に戻したい場合は、以下の手順でリセットできます。

- 1) コンセントからACアダプタを抜き、バッテリーケースから内部電池を取り除いてください。
- 2) キーボードの キーと キーを同時に押してください。
- 3) キーと キーを押した状態で、ACアダプタをコンセントに挿入して下さい。

約1秒後、本機RD-02から「ピーッ」と発音音が鳴ります。

②自動通報先の電話番号の設定（必ず設定してください）

最大6ヶ所までの電話番号（最大16桁）を、本機RD-02に登録することができます。

注）110番、119番への自動通報は、銀行・学校など許可された専用の装置に限定されております。本製品の自動通報先には登録しないようお願いします。

- 1) **P** を押してください。
- 2) 登録済みの暗証番号 **[?][?][?][?]** を押してください。
- 3) 発信音と共にディスプレイに " P " が表示されます。
- 4) 1番目の通報先を登録するには、**[1]** を押してください。(Pが消える前に)
- 5) 続けて、通報先電話番号を入力してください。
- 6) ディスプレイに入力した通報先電話番号を表示後、数秒後に確認音が鳴りディスプレイに " P " が表示されます。
- 7) 続けて、2番目の通報先を登録するには **2** を押した後、通報先電話番号を入力してください。(3番目以降も同様な方法で登録できます)

入力完了後、ディスプレイには " P " が表示され、3回の短い発信音が鳴り設定完了です。

〈例〉1番目の通報先に 090 1234 5678 、2番目の通報先に 03 3999 9999 、
3番目の通報先に 052 888 8888 を登録する。

P	[?]	[?]	[?]	[?]	[?]	1	0	9	0	1	2	3	4	5	6	7	8
						2	0	3	3	9	9	9	9	9	9	9	9
						3	0	5	2	8	8	8	8	8	8	8	8

③ 自動通報先の電話番号の消去

- 1) **P** を押してください。
- 2) 登録済みの暗証番号 **?? ??** を押してください。
- 3) 発信音と共にディスプレイに " P " が表示されます。
- 4) 1番目の通報先の登録を消去するには、**1 S** を押してください。
- 5) 数秒後に確認音が鳴り、ディスプレイに " P " が表示されます。
- 6) 2番目の通報先の登録を消去するには、**2 S** を押してください。
(3番目以降も同様な方法で消去できます)

入力完了後、ディスプレイには " P " が表示され、数秒後、3回の短い発信音が鳴り、消去完了です。

(例) 6番目に登録した電話番号を消去する。

P ? ? ? ? 6 S

※登録済みの通報先電話番号を変更する場合は、そのまま新しい電話番号をかぶせて設定することができます。

④ 電話回線の識別設定 (必ず設定してください)

本機RD-02に接続する電話回線の形式を記憶させます。

- 1) まずこの設定を始める前に、1番目の自動通報先に電話番号が登録されていることを確認してください。(未登録場合は、P12ページの ②自動通報先の電話番号の設定を参考にして、1番目の自動通報先に登録してください)
- 2) **L** を押してください。
- 3) 登録済みの暗証番号 **?? ??** を押してください。
- 4) 発信音と共にディスプレイに " L " が表示されます。
- 5) ***** を押してください。入力後、本機RD-02より1番目に登録した電話番号に自動的に電話がかけられます。1番目に登録した電話番号がディスプレイに表示されます。この時、受信側で応答しないようにして下さい。数秒後に、本機RD-02より確認音が鳴り(ディスプレイに " L " が表示)さらに数秒後に、3回の短い発信音が鳴り設定終了です。

⑤ リダイヤル回数の設定

登録された電話番号へのリダイヤル回数を（最大9回まで設定可）設定します。
（工場出荷時は2回に設定されています）

- 1) **P** を押してください。
- 2) 登録済みの暗証番号 **[?][?][?][?]** を押してください。
- 3) 発音音と共にディスプレイに " P " が表示されます。
- 4) **[7]** を押してください。続いてリダイヤル回数 **[1]~[9]** を入力してください。
- 5) ディスプレイに入力したリダイヤル回数を表示後、確認音が鳴り、数秒後ディスプレイに " P " が表示され、3回の短い発音音が鳴り設定終了です。

（例）リダイヤル回数を、3回に設定する。

P [?] [?] [?] [?] [7] [3]

⑥ サイレンの継続時間の設定

本機RD-02は、本体にサイレンが内蔵されています。異常があった場合のサイレンの継続時間を 0分から 18分まで、2分間隔で設定することができます。
（工場出荷時は、4分間に設定されています）

- 1) **P** を押してください。
- 2) 登録済みの暗証番号 **[?][?][?][?]** を押してください。
- 3) 発音音と共にディスプレイに " P " が表示されます。
- 4) **[9]** を押してください。続けて、サイレン継続時間 **[0]~[9]** を入力してください。

注）（入力した数値×2）分間を設定継続時間となります。
例えば、**[8]** を入力した場合、サイレン継続時間は、16分間となります。
また、**[0]** を入力した場合サイレン機能は働きません。

- 5) ディスプレイに入力したサイレン継続時間を表示後、確認音が鳴り、さらにディスプレイに " P " が表示された後、3回の短い発音音が鳴って設定終了です。

（例）サイレンの継続時間を2分間に設定する。

P [?] [?] [?] [?] [9] [1]

（注）本機RD-02の緊急ボタンを押してサイレンを鳴らした場合、設定したサイレン継続時間の間はサイレンを停止することができません。誤って緊急ボタンを押した場合は、内部電池を外し、ACアダプタをコンセントから抜いてください。

⑦自動受信コール回数の設定

外部の電話から、本機RD-02に接続されている回線に電話することによって、双方向でコミュニケーションをすることができます。
外部から電話をかける際、自動受信するまでの着信コール回数を設定します。
(工場出荷時は6回に設定されています)

- 1) **P** を押してください。
- 2) 登録済みの暗証番号 **?? ??** を押してください。
- 3) 発音音と共にディスプレイに " P " が表示されます。
- 4) **0** を押してください。続いて自動受信コール回数 **0** ~ **9** を入力してください。
(0 を入力した場合、自動受信しません)
- 5) ディスプレイに入力した自動受信コール回数を表示後、確認音が鳴り、数秒後ディスプレイに " P " が表示され、3回の短い発音音が鳴り設定終了です。

(例) 自動受信コール回数を、9回に設定する。

P ? ? ? ? 0 9

- 注1) 本機RD-02に接続した電話機が、留守番電話や自動受信のFAX付電話機の場合、自動受信コール回数を 0 回 (OFF) に設定してください。
但しこの場合、遠隔モニター機能は使用できなくなります。
- 注2) 自動受信コール回数は、通常 8 回以上に設定してください。
設定値が小さい場合、設定回数コール後、自動的に本機RD-02につながってしまい電話が使用できなくなります。

⑧警報メッセージ (自動受信した時に、受信者に流れるメッセージ) の録音

自動通報した際の、受信者に流れるメッセージを録音します。
本機RD-02のマイクに向かって、明瞭にメッセージを録音してください。
(録音時間は20秒ですので、メッセージが20秒に満たない場合は、メッセージを繰り返しフルに20秒間録音してください)

■メッセージ文例

" (あなたのお名前) です。現在私の (家・事務所など) で警報システムが作動しています。 "
" 発音音の後、以下の操作のいずれかを行ってください。聞く場合はボタン4を、話す場合 "
" はボタン5を、次の登録先にダイヤルする場合はボタン6を、このメッセージを再び聞く "
" 場合はボタン7を、電話を切る場合はボタン8を押してください。 "

- 1) **P/R** を押してください。
 - 2) 登録済みの暗証番号 **?? ??** を押してください。
 - 3) 発音音と共にディスプレイに " ト " が表示されます。
 - 4) **#** を押した後、メッセージを20秒間録音してください。20秒後確認音が鳴り、ディスプレイに " ト " が表示された後、3回の短い発音音が鳴り設定終了です。
- 注) 録音したメッセージを確認する場合は、1) 2) 3) を繰り返した後、**※** を押してください。録音したメッセージが再生されます。

⑨登録した設定値の確認

本機RD-02のキーパットより、以下キーを押すことにより、登録済みの各設定値をディスプレイに表示させることができます。

キーパット キー	確認項目
1	1番目の通報先電話番号
2	2番目の通報先電話番号
3	3番目の通報先電話番号
4	4番目の通報先電話番号
5	5番目の通報先電話番号
6	6番目の通報先電話番号
7	リダイヤル回数
9	サイレン継続時間
0	自動受信コール回数

設定機能のテスト

他のセンサー類（接点入力）と有線をつないでご使用になる場合

ご使用になるシステムとの連動動作をご確認ください。

本機RD-02の緊急ボタンを押すことによっても、自動通報させることができます。

注) 緊急ボタンを押す場合は、強くかつ長め（2～3秒間）に押ししてください。

自動通報受信時の操作と遠隔音声モニター操作

[1] 自動通報受信時の操作

本機RD-02から自動通報を受信した場合、受信した電話機のボタンを押すことによって遠隔で本機RD-02を操作することができます。

【操作方法】

- 1) 電話機（携帯電話など）の受信をして下さい。
- 2) 録音されたメッセージが終了するまでお待ちください。
- 3) 確認音の後、10秒以内に受信した電話機のボタンを押して以下の操作をして下さい。

4	を押す	：現場の音声モニター（現場の音を聞く）
5	を押す	：双方向で会話
6	を押す	：通話を停止し、次の登録先へダイヤル
7	を押す	：メッセージを再び聞く
8	を押す	：全ての登録先への通報を停止し、回線を切断

注) 双方向で会話する場合は、受話器に口を近づけ、大きな声でお話ください。

**電話を切る場合、必ず電話機の8ボタンを押して回線を切断してください。
(通常の切断ボタンで切断した場合、回線切断後も一定時間話中になり、電話が使えなくなります)**

[2] 遠隔音声モニター操作

外部の電話から、本機RD-02が接続されている回線に電話をかけることによって、双方向で現場と会話することができます。

【操作方法】

- 1) 外部の電話から、本機RD-02が接続されている回線の電話番号に電話をかけてください。
- 2) 本機RD-02からの応答をお待ちください。
(応答開始までのコール回数は、設定した自動受信コール回数（15ページ）となります)
- 3) 確認音の後、登録済みの暗証番号（ ? ? ? ? ）を受信した電話機のボタンより入力してください。
- 4) 確認音の後、10秒以内に受信した電話機のボタンを押して、以下の操作をして下さい。

4	を押す	：現場の音声モニター（現場の音を聞く）
5	を押す	：双方向で会話
8	を押す	：回線を切断

Q & A 故障かなと思う前に

トラブル	原因	対策	記載ページ
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ACアダプタがコンセントに挿入されていない。 RD-02にACアダプタの電源プラグが挿入されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ACアダプタをコンセントに確実に挿入してください。 電源プラグを確実に挿入してください。 	<p>P 8</p> <p>[2] 図参照</p>
異常時でないのに自動通報装置が作動する	<ul style="list-style-type: none"> バッテリーケースのフタが開いている。 センサーの設定がN.Cになっている 	<ul style="list-style-type: none"> タンパー回路が働いている可能性があります。バッテリーケースのフタをしっかりと閉じて下さい。 バッテリーケースの底面にあるディップスイッチの右側スイッチがON（上部）の位置に、左側スイッチがOFF（下部）の位置にあることを確認してください。 	<p>P 7</p>
緊急ボタンを押しても、自動通報装置が作動しない	<ul style="list-style-type: none"> 押す時間が短い 	<ul style="list-style-type: none"> 強く長め（2～3秒間）に押しってください。 	
自動通報装置の警報が解除できない	<ul style="list-style-type: none"> 有線接点入力で接続されている。 RD-02への電話コードが正しく接続されていない。 緊急ボタンを押して警報を鳴らした。 	<ul style="list-style-type: none"> 設定したサイレン継続時間内は解除できません。（内部バッテリー及び電源プラグを抜いてください） 	<p>P 8</p>

Q & A 故障かなと思う前に

トラブル	原因	対策	記載ページ
遠隔音声モニターができない	<ul style="list-style-type: none"> 留守番電話、自動受信のFAX付電話機と接続されている。 自動受信コール回数の設定が0になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 遠隔音声モニターとの併用はできません。 自動受信コール回数を6回以上に設定してください。 	P15 ⑦
警報メッセージが聞こえない	<ul style="list-style-type: none"> メッセージが録音されていない 	<ul style="list-style-type: none"> 警報メッセージを録音してください。(20秒間繰り返しフルに録音してください) 	P15 ⑧
暗証番号を忘れた		<ul style="list-style-type: none"> リセットして、工場出荷時の設定に戻してください。 工場出荷時設定 1 2 3 4 	P11 ①
異常時に自動通報装置は作動するが、外部への電話へ通報されない	<ul style="list-style-type: none"> 電話回線の接続が間違っている。 電話回線の識別設定がされていない。 接続されている回線がダイヤル（パルス）式回線。 	<ul style="list-style-type: none"> 電話回線の接続をチェックしてください。 電話回線の識別設定を行ってください。 NTTで、プッシュ（トーン）式回線に変更してください。 	P8～10

主な仕様

形式	RD-02
電源	ACアダプタ DC12V±10% 500mA
動作電流	待機時： 通報時：
登録先電話番号	6ヶ所迄
サイレン音量	90dB (OFF可)
入力	無電圧接点 N. C/N. O切換式
バックアップ電源	AAサイズ 1.2VNi-Mh充電電池3個
動作環境	プッシュ（トーン）式電話回線
動作温度	-10℃～40℃
外形寸法	200mm (W) ×45mm (H) ×135mm (D)
重量	500g (本体)

- ※ 仕様は改良などのため予告なく変更する場合があります。ご了承ください。
- ※ この自動通報装置は自動で通報するためのもので、盗難防止装置ではありません。万一発生した事故損害等については責任を負いかねますのでご了承ください。

FAX お問い合わせシート

FAX送信

052-935-6835

- ・お電話が込み合っつなかりにくい時には、この FAX シートでご質問をお願いします。

お名前		TEL	()
		FAX	()
ご住所	〒 -		

機種名	
お買い上げ店	
お買い上げ日	年 月 日
ご意見及びお問い合わせについて、文字・イラスト等具体的にご記入ください。	

※このページをコピーしてご利用ください。

日本セキュリティー機器販売株式会社
CSセンター
TEL 052-935-6833

* 保証書 *

型名	RD-02			
製造番号	お手数ですが製品の裏面の製造番号を記入願います。			
【お客様記入欄】お名前		様 TEL ()		
ご住所 〒 -				
【取り扱い販売店名・住所・電話番号】			お願い 本保証書に販売店名、販売年月日が 無き時は無効となります。 記入不可能な場合には、お買い上げ 年月日を証明できる領収書などを 保管してください。	
保証期間 お買い上げ日		1 年間		日本セキュリティー機器販売(株)
年 月 日より				NSK

* 保証規定 *

- 1) 取扱説明書の注意事項に基づくお客様の正常なご使用状態のもとで、保証期間内に万一故障した場合、無料で故障箇所を当社所定の方法で修理させていただきますので、お買い上げ販売店に本保証書を添付してご持参ください。
(宅急便などをご利用の際は往復の送料は、お客様のご負担となります。また、出張修理および代替修理は行いません。)
- 2) 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接または間接的な被害に対し当社又は販売店は一切の保証は致しません。ご了承ください。
- 3) 保証期間内でも次のような場合には、有料修理になります。
 - (1) 本保証書のご提示がない場合。
 - (2) 本保証書に保証期間、販売店名の記入がない場合、又は字句を書き換えられた場合。
 - (3) ご購入後の移動時の落下または衝撃など、お客様の取り扱いが適正でないために生じた故障・破損の場合。
 - (4) お客様による使用上の誤り、あるいは不当な改造による故障・損傷。
 - (5) 火災・ガス害・塩害・地震・落雷・および風水害・その他天災地変、あるいは異常電圧などの外部要因による故障・損傷。
 - (6) 本製品に接続している周辺機器および消耗品に起因するこしょう・破損。
 - (7) 説明書に記載する使用方法、および注意に反するお取り扱いによって生じた故障・破損。
- 4) ご不明な点はお買い上げの販売店、あるいは別紙FAX用紙ご記入の上当社までお問い合わせください。
- 5) 本保証書は、日本国内のみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.

☆この保証書は本書に明示した条件のもとで、無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間後の修理については販売店にお問い合わせください。